

令和7年度 保育園・認定こども園の自己評価

施設名（ 本町こども園 ）

※ A B C D の4段階評価です。該当する欄に○を付けてください

	A	B	C	D
	大変よい	よい	一部検討を要する	改善を要する
施設名（ 本町こども園 ）				
※ A B C D の4段階評価です。該当する欄に○を付けてください				
自己評価項目	評価			
1. 園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について				
① 園の保育理念、園の保育方針・保育目標を理解し、共有している	○			
2. 保育について（環境と内容）				
① 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	○			
② 年齢別・クラス目標は、保育目標に基づいて設定している	○			
③ 評価、資料（諸記録）を集積している	○			
④ 日々の保育実践について振り返りを行い、計画に生かし、子どもの育ちに反映させている	○			
⑤ 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している		○		
⑥ 気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している	○			
⑦ 季節の草花や野菜等を育てるなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている	○			
⑧ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています		○		
⑨ それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している	○			
⑩ 保育についての話し合いをよくしている		○		
⑪ 報告・連絡によりこどもの情報共有ができています	○			
⑫ それぞれの役割を把握し、適切な動きができています		○		
⑬ 不適切保育への対応、話し合いができています	○			
3. 行事について				
① 行事の種類や実施回数は適切である	○			
② 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	○			
4. 食育について				
① 食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	○			
② 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	○			
③ 調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている		○		
5. 健康管理・保健について				
① 日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	○			
② 玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している		○		
③ 乳幼児突然死症候群や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	○			
④ 年齢別クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている		○		
⑤ 室内の衛生、クラス回りの清掃に心がけ気持ち良い環境に心がけている		○		

6. 安全及び事故防止について				
① 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している	○			
② 事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている	○			
③ 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	○			
7. 職員の研修について				
① 園内・園外研修への参加態勢の充実を図っている	○			
② 研修報告を園内で実施している			○	
8. 保護者支援について				
① 子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている		○		
② クラス懇談や個別懇談を行っている	○			
③ 入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている	○			
④ 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	○			
⑤ 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している	○			
9. 地域交流についておよび対外交流について				
① 園庭を、地域の子育て親子等に解放している	○			
② 職員による育児に係る「子育て相談」は充実している		○		
③ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している	○			
④ 中高生の職場体験や実習生の受入体制について、その意義や方針を全職員が理解している		○		
⑤ 他園との交流や小学校との連携を行っている	○			
10. 情報発信および情報管理について				
① 園だより、よいこネット、ホームページ等で、情報発信に努めている	○			
② 行事や子育て支援等を、地域に対して周知している	○			
③ 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	○			
④ 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	○			
11. 運営について				
① 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある。	○			
② 各種会議を適切かつ効果的に進めている	○			

総括（次年度に向けて）

●環境、保健、食育、研修の分野別の取り組みが定着した。次年度は図書の分野を開設し、更に保育内容を深め保護者に向けた発信をしていきたい。●4・5歳児を中心に、全クラスで市のエージェンシー保育「どっちどっちタイム」の取り組みを進めた。特に年長児では取り組みが定着して、自分の考えを発表することや、友だちの意見を聞くなどの考える力がついた。●よいこネットを活用した保護者への引き渡し訓練に取り組んだ。次年度はキッズビューに変更となるので、新しい連絡方法で取り組みたい。●月の便りや健診結果などをアプリから見られるように取り組んだ。次年度は更に活用を増やし、キッズビューへの1本化を進めていきたい。●Instagramを活用して園関係者以外の地域をはじめとする外部の方にも園の情報発信を行った。●感染症対策の徹底や早期対応を心掛けることで、感染症拡大防止に努めることができた。●性教育について進めていく中で、参観や保育、環境の見直しを行った。次年度は更に保護者の協力をいただきながら環境を整えたい。●新入園児を中心に敷布団、おむつとエプロンのサブスクを開始した。保護者や保育者の負担軽減や、子どもに向き合う時間の確保にも繋がった。●研修には積極的に参加するものの、研修報告時間を十分に確保することが出来なかったため、次年度は計画的に進めて保育に活かしたい。また、給食職員による食育活動も積極的に行いたい。安定した保育を進めていくために若手職員の育成や定着にも注力したい。